



Title	北海道大学結核研究所集談会記録
Description	
Citation	結核の研究, 11, 137-137
Issue Date	1959-10
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26683
Type	departmental bulletin paper
File Information	11_P137.pdf



北海道大学結核研究所集談会記録

第 45 回 昭和 33 年 1 月 28 日

有馬 純：化学療法剤の影響下にみられる結核菌の形態、増殖力及び染色性の変化について

関川 勲：蛋白質及びペプチッドのアミノ末端基決定法

第 46 回 昭和 33 年 2 月 18 日

時田 広：遅延性ショックの組織病理学

佐々木昭雄：筋収縮性蛋白質の 2, 3 の性状について

大原 達：抗酸性菌の分類ならびに細菌の同定について

第 47 回 昭和 33 年 3 月 4 日

沼田達夫：結核マウスのアレルギーについての研究

萩原昭男：血清抗体の分画泳動について

文献：H.H. Fudenberg, H.G. Kunkel (J.E.M. 106, 689, 1957).

柿本七郎：コードファクターの合成及びミコール酸の構造

文献：J. Polonsky et al. (Bull. Soc. Chem. France, 1471, 1956), Gendre et Ledrer (Ibid., 1478, 1956). E.D. Morgan et al. (J.C.S., 3779, 1957).

第 48 回 昭和 33 年 3 月 25 日

山本健一：静脈内結核抗原注入による結核ツ皮膚アレルギー発現遅延と病変軽減について

奥山春枝：結核動物血清の免疫学的研究 (VI)

西江 純：抗結核製剤の研究 (XIV) ギオキシフタラジン誘導体の合成

関川 勲：抗結核製剤の研究 (XV) ベンゾチアダイアゾール誘導体の合成

第 49 回 昭和 33 年 5 月 6 日

望月孝二：肺病巣内結核菌の形態と増殖性について

宮崎正澄：核酸の水酸化ランタンによる加水分解とヒドラジン分解

山下慎子：結核菌のテルル酸カリ還元

第 50 回 昭和 33 年 6 月 13 日

大原 達：国立結核研究所談話会報告

橋本徹二：抗アレルギー剤の結核アレルギー反応に及ぼす影響

小田嘉治：人間を結核の対象とした口腔、腋下温度差の消長について (その 1) 結核症をめぐる

第 51 回 昭和 33 年 7 月 1 日

永山能為：結核菌の発育及び薬剤耐性獲得に対する外気環境の影響

森川和雄：アレルギーにおける細胞障害

第 52 回 昭和 33 年 9 月 19 日

有馬 純：所謂非定型抗酸性菌について

文献：E. Wolinsky et al. (Am. Rev. Tuberc., 75, 180, 1957) A. Pollak et al. (Ibid., 71, 74, 1955). L.H. Smith et al. (Ibid., 75, 169, 1957). H.E. Crow et al. (Ibid., 75, 199, 1957).

柿本七郎：免疫における立体化学

文献：W. Klyne et al. Progress in Stereochemistry (London, Butterworths Scientific Publications, 1958).

第 53 回 昭和 33 年 10 月 7 日

奥山春枝：非沈降性抗体と血清内抗原・抗体複合体について

文献：L.A. Sternberger (J. Allergy, 28, 40, 1957; J. Exp. Med., 104, 523, 1956).

小林豊司：結核症におけるツベルクリン蛋白の役割について

佐々木昭雄：結核菌の菌体成分のクロマトグラフィー

第 54 回 昭和 33 年 11 月 4 日

西江 純：イソチオシアンネート化合物の構造と抗菌性について

文献：C.K. Brandsher et al. (J.A.C.S., 81, 44, 1958).

高橋義夫：結核菌の磷脂質について

第 55 回 昭和 33 年 12 月 2 日

宮崎正澄：ミコバクテリウム フレイの乳酸の酸化的脱炭酸酵素の作用機序と結晶化

文献：W. B. Sulton (J. Biol. Chem., 226, 395, 1957).

西風 脩：胞部外科術中術後補液をめぐる (その 1)

月居典夫：結核患者のレハビリテーションの問題